

【調査結果の概要】

1 令和3年6月30日現在の在庫量

令和3年6月30日現在における1農業経営体当たりの米の在庫量は283kgとなり、前年同月に比べ10.1%増加した。

このうち精米を除く在庫量は264kgとなり、前年同月に比べ10.5%増加した。

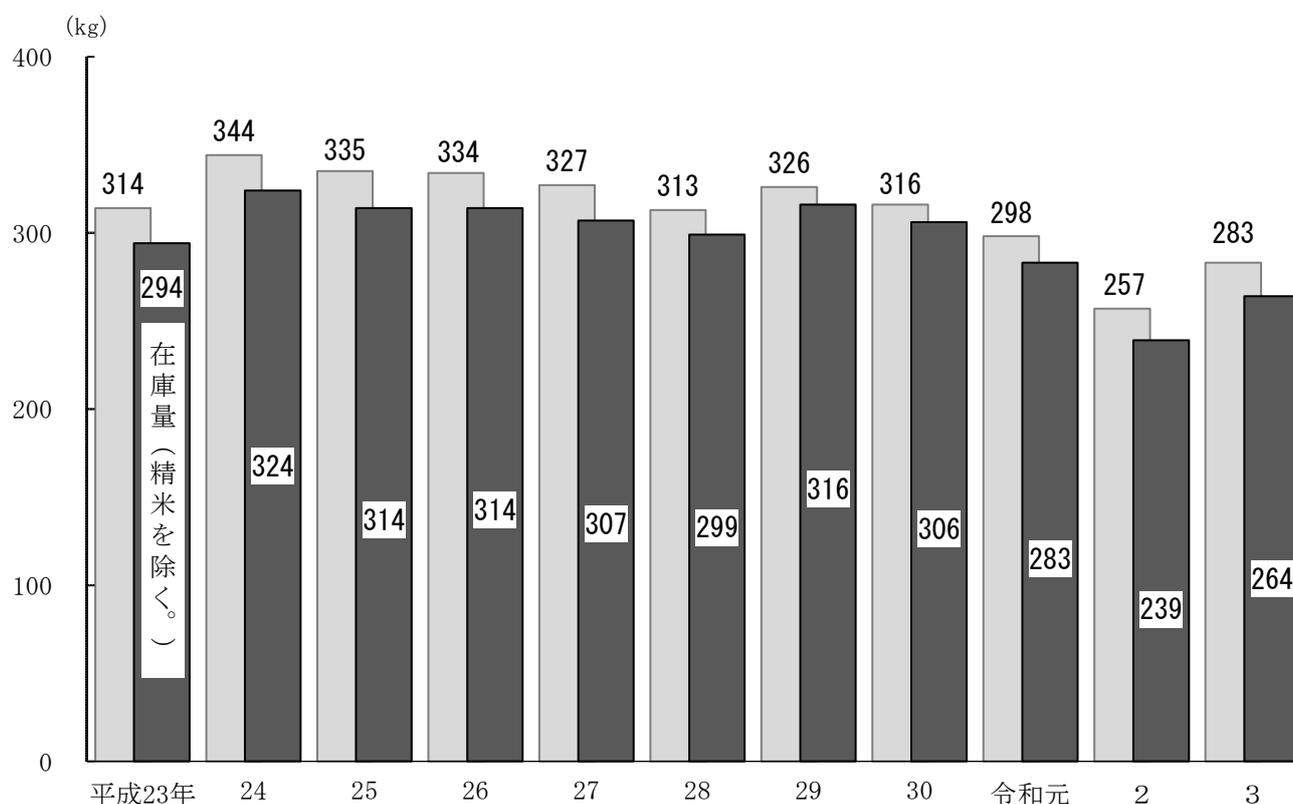
表1 6月30日現在における米の在庫量（全国）

| 区分 | 令和2年 6月30日現在 | 令和3年 6月30日現在 | 前年同月との比較 | |
|---------|-----------------|-----------------|----------|-----------|
| | | | 対差 | 増減率 |
| 在庫量 | kg 257 | kg 283 | kg 26 | % 10.1 |
| うち精米を除く | 239 | 264 | 25 | 10.5 |

注：1 在庫量とは、農業経営体が保管している主食用の米穀の量をいい、販売予約済又は手付金受領済のものであって、現品を当該農業経営体以外の者に引き渡していないものを含む（以下同じ。）。

2 在庫量は、玄米換算した数値である（以下同じ。）。

図1 6月30日現在における米の在庫量の推移（全国）



注：平成30年までの調査対象は販売農家であるが、令和元年以降の調査対象は農業経営体である。

2 令和2年（令和2年6月～令和3年5月）

- (1) 令和2年における1農業経営体当たりの米の収穫量は8,157kg、販売量は7,461kg、自家消費量は351kgとなり、前年に比べそれぞれ34kg（0.4%）の減少、104kg（1.4%）の減少、35kg（9.1%）の減少となった。
- (2) 令和3年5月31日現在の1農業経営体当たりの米の在庫量は348kgとなり、前年に比べ11kg（3.3%）の増加となった。

表2 米の収穫量、販売量、在庫量等（全国）

| 区分 | 令和元年 | 2 | 前年との比較 | |
|-------------|-------|-------|--------|-------|
| | | | 対差 | 増減率 |
| | kg | kg | kg | % |
| 収穫量 | 8,191 | 8,157 | △ 34 | △ 0.4 |
| 購入量 | 98 | 117 | 19 | 19.4 |
| 販売量 | 7,565 | 7,461 | △ 104 | △ 1.4 |
| 無償譲渡 | 237 | 222 | △ 15 | △ 6.3 |
| 自家消費量 | 386 | 351 | △ 35 | △ 9.1 |
| 5月31日現在の在庫量 | 337 | 348 | 11 | 3.3 |

注： 5月31日現在の在庫量は、令和元年は令和2年5月31日現在の在庫量であり、令和2年は令和3年5月31日現在の在庫量である。

3 令和2年の水稲うるち米の販売先別販売量の割合

令和2年における1経営体当たりの水稲うるち米の販売先別販売量の割合は、JA等が最も多く69.5%、次いで卸・小売業者が16.9%、一般消費者等が10.3%、外食事業者が1.0%の順となった。

図2 水稲うるち米の販売先別販売量の割合（全国）

